
平等とか不平等とか

宇ノ鹿 すい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

平等とか不平等とか

【Nコード】

N4990N

【作者名】

宇ノ鹿 すい

【あらすじ】

考えたことです。適当に。

人間が墮落することは不幸だというが、実はそれは幸福にもなりえる。

なぜならば、人間が目撃したり耳にしたり嗅いだりする、全ての事象は、結局人間の脳みそによる主観で感じることでしか感知することが出来ないのだから、人間は不幸でさえも幸せと感知することが出来るはずなのである。自分の主観は自分でコントロールできるものなのだから。そのための高度な脳みそである。

つまり、人間は徹底的に自己本位で生きている存在だ。それは他の動物たちも同じだが。

自己本位という点では結局、全ての動物は同じだ。動物は己の幸福を祈り、そのために生きる。

人間も己の幸福のために生きる。（他人の幸福を願うことが幸福だ、という人もいる。それは一見他人の幸福のために生きているようにも見えるが、大元をたどれば己の幸福のために生きているということであると私は思う）

だから、己にとって幸福なのは、不幸に堕ちいつてその快感に酔いしれることだ、という人間だって当然、たくさんいる。

人間の面白い所は、一人一人によって何が幸福で何が不幸であるかということが、面白いほどに違うことがあるということ。おそらく人間はそういう点でほかの動物と違うのだと思う。

育ち方、環境、毎日の送り方。

それらで人間は各々が各々の成長をし、独自の幸福あるいは不幸を

形作っていく。

しかし各々が勝手に成長し各々の欲望を縦横無尽に展開させたら、人間社会はめちゃくちゃになってしまいかもしれない。レイプや殺人、そんなことを快樂にする人間が世をはこびたら困るっていう人は多い。

そういうのを無くしていくために、人間はある程度統合されなくてはならない。めちゃくちゃすぎる人間社会を防ぐために、ポリスは形成されるというわけだ。

だからそこからはみ出すと村八分にされ食料も分けて貰えず、死にいたる。

今は人口が昔と比べたらいっぱいだから、規則が人間を縛れなくなってきたのかもしれない。それを防ぎたいならば、人間の数を減らすしかないと思う。

それをしないならば、人間社会はこれからゆつくりとめちゃくちやになり、裏側からじつくりとめちゃくちやが染みこみ、表にやがて噴出すだろうと思われる。

日本は下品になった、なんて言う年寄りがいっぱいいるが、そんなもんだたり前である。

人間が増えてるんだから、規則を守りたい人間が、守りたくない人間に負ける。

規則を守りたい人間は少数になるのが当たり前。

なぜならば私たちを子供時代縛り付けた教育機関たちは、矛盾だらけな苦痛を私たちに絶え間なく与え続けた代物だから、（つまり納得行く形で規則を教えるというよりは、おさえつけて規則を教えようとしたという行為を繰り返してきた人たちもいたわけだから）規

則を守りたくない人間は溢れる。

守りたい人間と、守りたくない人間。

人口が増え、便利なものも増えて人間が働くべき空間もどんどん減っていけば、人間はすることがなくなつて欲望に走りなくなる。そういう人も守らない人といえる。

で、欲望を押さえつけられればいい、という答えに陥るのは単純すぎる。押さえつけるという行為は欲望を抑圧させるから、余計に欲望を増幅させる。

だから、今までの感情のどこかを押さえつけるような規則はもう役に立たないのかもしれない。なぜならば、人間社会は昔と違って人口も増えたから、種が滅亡する危機は減っていて、一人一人に与えられる責任は減少しているのだから。

欲望を増幅させて人間は一度、滅びる運命なんじゃないかと感じる。滅びるといっても完全に滅びるわけではなく、人口が減るのではないかと思う。

半分くらいに。

その時に、生き残る側と死ぬ側の境界線がどのように分かれるのかは、わからない。

規則を守る側が生き残り、守らない側が生き残るなんて、そんな境界線の分かれ方をすることだけは、あり得ないと思う。

ただただ、無慈悲に、理由はなく、人口は半分くらい減るんじゃないかと想像する。

その時人間は、みな平等である。

理由が無いということは結局、平等なのである。

理由があるからこそ、不平等は生まれる。

突飛な結論になってしまった。

こんな突飛な結論が読む人に悪い影響を与えることもあれば、良い影響も与えることもあり、なんの影響も与えないこともある。ただただその事実だけが転がっている。それが真実だと思う。

事実が転がっているということだけが、真実だ。

広大な宇宙とかいうところで、人間という生き物が地球という惑星で生きている。

そういう事実があるだけだと、最近、思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4990n/>

平等とか不平等とか

2011年11月13日10時39分発行